

国労東北自動車支部

発 責 北山修司
編 責 教 宣 部
NO,48
2014.11.26

国労加入
で職場を
変えよう

年末手当交渉開催

会社 「減収減益で厳しい」

組合 「人材流出に歯止めを」

11月17日（月）バス東北会社会議室において「2014年度年末手当についての申し入れ」仙地申6号の交渉を行いました。

消費増税をはじめ円安によるガソリン、灯油代の高騰など私たちの生活は苦しくなる一方です。人材流出に歯止めをかけるためにも生活給である年末手当に会社は誠意ある回答を示すべきです。（以下、交渉内容要旨）

会社・上期の決算は収入、経費で差し引きを考えると減収減益だ。ご存知の通り仙台―新宿等お客様が減っている現状にある。経費をみると動力費、被服費、減価償却費等増えている。昨年の上期に比べると儲けが減っているという厳しい状況にある。

組合・何%ぐらい減っているか。

会社・対前年8割ぐらいにしか落ちていない。

組合・8割というのは収入という部分か、収益という部分か。

会社・収入と費用である。

組合・経営計画の収益のうち上期で何%ぐらいまでできています。

会社・上期の方に収益効果があり6割強ぐらいになっている。昨年は東京方面で増便等好調だったが、今年はそうでもない。

組合・夏の繁忙期輸送は輸送人員で

対前年104%になっている。

会社・夏季輸送は一時的なものである。本業の儲けを示す営業利益は収支計画でも今年の方が悪くなっている。

組合・ベースアップや契約社員の基本日額の引き上げ（一部）があった反面、夏季手当では加算額が大幅に減った。大幅に経費が増えたとは思えない。平成18年に寒冷地手当が廃止されたが東北の事情として厳しい寒さのところに居住して

JRグループ各社回答状況

JR東海 3.0ヶ月 12/10 支払

JR九州 2.57ヶ月 12/10 支払

JR貨物 1.32ヶ月 12/5 支払

ソフトバンクテレコム

2.5ヶ月 12/15 支払

JR四国 2.23ヶ月 12/5 支払

いる。年末手当というのは寒冷地手当がない分、灯油代として大きなウェイトを占める。出向者があるが年末手当によせる期待というのは生活に直結し大きい。

会社・組合も理解していると思うが、政宗など昨年は好調で今年増便したが良くなかった。それが本業の方にも影響としてある。

組合・現状において辞めていく社員が今なお後を絶たない。現場は神経をすり減らし人身事故もなく推移している。ぜひ、そこも含め考えてもらいたい。12月5日支払いはどうか。

会社・会社としても作業があるし、本体も出ていない中、支払日は答えられない。

組合・契約社員からプロパー社員になる人が増え、それなりに年数が経っている。年代的にも持ち家の人が多く住宅ローンなど支払いがあるし、それを見込んでローンを組んでいるのが実態だ。社員の期待に答えてもらいたい。

会社・減収減益ということは理解してもらいたい。ただ、会社として大きな事故もなく頑張っているということに対しては最大限応えていきたいと考えている。